

# 3 : 導入事例と機械式駐車場

テーマ3では実際に設置された事例をご紹介します。  
また、機械式駐車場メーカーに対してヒアリングした内容をご紹介します。

# 都の補助金を活用したEV充電器設置の導入事例

## ○パークホームズ武蔵小山

### 概要

総戸数	287戸(分譲マンション)
駐車場区画数	平置6区画、機械式64区画

### 設置状況

充電器の種類	普通充電器 6kW 壁面取付タイプ
配管	建物内は隠ぺい配管、建物外は露出配管(約68m)
設置数	平置駐車場2区画に1基ずつ設置 (計2基)※契約者専用

### 費用及び補助金の活用

設置費用	約320万円
補助金額	約196万円 (国/約153万円、都/約43万円)

※設置時期：2021年10月【設置事業者 レジル株式会社  
(旧社名 中央電力株式会社)】



### 導入の経緯

- 充電サービス事業者の丁寧な説明がきっかけ。
- EV車の時代になるという予測と補助金の活用で費用負担が少ないことなどから、2021年10月に設置。
- 隠ぺい配管のため点検口の新設や配管ルート検討が費用増につながった。

# 都の補助金を活用したEV充電器設置の導入事例

## ○イニシア千住曙町

※設置時期：2021年12月【事業者 ユアスタンド株式会社】

### 概要

総戸数 515戸（分譲マンション）

駐車場区画数 自走式 約490区画

### 設置状況

充電器の種類 普通充電器 6kW スタンド取付

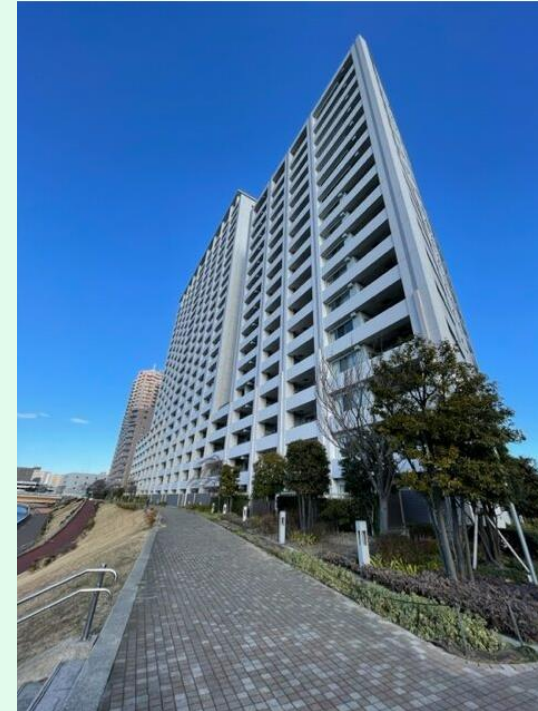
配管 架空配管（約100m）

設置数 駐車場2区画に1基ずつ設置  
（計2基）※複数台で共用

### 費用及び補助金の活用

設置費用 約224万円

補助金額 約193万円  
（国/約150万円、都/約43万円）



### 導入の経緯

- 今後の利用普及増を踏まえて数年前から設置を検討。
- 補助金の活用で費用負担が少ないこと、住民アンケートの約9割が設置に賛成だったことなどから、2021年12月に設置。



# 都の補助金を活用したEV充電器設置の導入事例

## ○プレステージ杉並

設置時期2022年12月【設置事業者 ユビ電株式会社】

### 概要

総戸数	39戸(分譲マンション)
駐車場区画数	41区画(地下38区画、地上3区画 (内、ゲスト用2区画))

### 設置状況

充電器の種類	充電用コンセント 出力3.2kW
配管	<ul style="list-style-type: none"><li>・特別措置による新規引込(敷地内に支柱を設置)</li><li>・地下駐車場手前(消化ポンプ室)に引込。 地下駐車場内は天井裏を配線。</li><li>・地上は引込支柱から植栽内を配線。</li></ul>
設置数	41基(全駐車区画に設置)※全駐車区画で専用利用

### 費用及び補助金の活用

設置費用	約989万円
補助金額	約752万円 (国/約748万円、都/約4万円)



### 導入の経緯

- 居住者からの声がかきかけで導入を検討。
- 充電事業者が契約者となって電気を別引込することで管理組合の電力契約との切り分けが可能になること、充電器を利用した人が料金を負担する仕組みが導入できることなどから、2022年12月に設置。

# 機械式駐車場について

## 【駐車可能なEV車両について】

下表は、令和5年10月に環境局が実施したメーカーヒアリングの結果を一般論としてまとめたものです。  
個別の対応状況については、お使いの機械式駐車場メーカーにお問い合わせください。

駐車可能なEV車両		タワー式 ※1	2 多段式
既設	主な仕様（幅/重量）	1,850mm/1,900kg～2,000kg	1,850mm/2,000kg
	主な対応車両	全EV車両ラインナップの35%程度（日産リーフ・サクラ等）※2	
新設	主な仕様（幅/重量）	2,050mm/2,300kg～2,500kg	1,950mm/2,300kg
	主な対応車両	全EV車両ラインナップの80%～90%程度（大型輸入車以外） メーカーによっては、ほぼ全てのEV車両に対応したタワー式パレットもあり	

※1 全てのパレットに最大荷重がかかる設計はしておらず、車重が重いEVが駐車できるのは全体の2割程度になる可能性がある。

※2 設置年が古い2多段式（昭和40年～50年に設置されたもの等）は、軽自動車EVしか駐車できない場合もあり。

※3 車両総重量や車幅の観点からEV車両が駐車可能か否かであり、充電器が設置可能や給電口と筐体の干渉は考慮していない。

➡ 新設や入替であれば大型輸入車を除く8割から9割程度のEV車両が駐車可能

# 機械式駐車場について

## 【既存の機械式駐車場の大型化・高耐荷重化について】

種別	タワー式		2多段式	
	メリーゴーランド式	エレベーター式	横行パレット	昇降パレット
改修（パレット交換等）	△※1	△※1、※2	△	×
施設の入替・更新	×	×	○※3	

※1 既存筐体の構造物としての耐荷重とサイズの成約を受けるため、パレット交換等、大幅な改修は難しい可能性がある

※2 一部メーカーでは、パレット数を減らした上で高耐荷重の大型パレットへの交換が可能

※3 パレット数を減らした上で、耐荷重増とパレット大型化が可能

※4 給電口の干渉は考慮していない

- ・改修や更新時にパレットの大型化と高耐荷重化をすることで駐車可能なEV車両の選択肢が増える。  
➡全EV車両ラインナップの80%～90%程度（大型輸入車以外）に対応することも可能

## 【EV充電器の設置について】

メリーゴーランド式以外であれば、機器の設置は技術的には可能なケースが多い。

パレット大型化・高耐荷重化の更新にあわせて、**将来的なEV需要の増加を考慮して**充電器の設置や先行配管を行うことが望ましい。

# 質疑応答

## (3 : 導入事例と機械式駐車場)

これより質疑応答を開始します。

3についてご質問がありましたら、チャットまたは口頭でご発言ください。  
口頭でご発言される場合は、Zoomの挙手機能をご活用ください。

# 今後の流れ

- 東京都の補助事業・支援事業の発表は以上になります。  
ご清聴いただきありがとうございました。